

入院診療計画書

一日入院で化学療法を受けられる方へ

病名					
入院年月日	20	年	月	日	
入院病棟は前日に決定し ご連絡いたします。	こちらにご配入ください				
説明年月日					
主治医氏名					
担当医氏名					
主治医以外の担当者氏					

*この予定表は現時点で考えられるものであり、変わることがあります。 不明な点がありましたらお尋ねください。

*この用紙は入院当日忘れずにお持ちください

以下の内容について主治医・担当看護師から説明を受けました

20 年 月 日

患者氏名:



病歴番号 950000-0

氏名 こども 太朗

生年月日 2018/2/22

性別 男

主治医	以外の担当者氏	家族氏名:	(続柄)	病棟名	
経過	入院時		薬剤投与中	退院	
治療	* 休日入院等平日以外の入院の際は9時30分までにまでに救急外来まで お越しください、救急外来にて担当医が問診と診察を行います。	* 薬剤を投与する前にお名前を確認します * 体温や血圧、呼吸数などを随時計測します * 吐き気がないか、その他の副作用がないか観察します		* 治療終了後、問題ないようでしたら点滴を中止し、中心 静脈ルートをヘパリンロックします	
	近所・学校・幼稚園・保育園で感染症の流行がある場合、入院できない ことがあります。必ず来院前に主治医にご相談下さい	* 吐き気がないが、その他の * 排尿ごとに血尿がないか調		* 腕から点滴をしている場合は点滴の針を抜き、止血が確認できるまでしばらくおさえます	
	身体計測を行います * 検査(採血・採尿)を行います。 * 体温・脈拍・血圧・Sp02を計測します。 * 中心静脈ルートに点滴をつなぎます。中心静脈ルートがない場合は薬剤投与のために点滴をします			* 治療終了後は医師の診察を受けて体調に問題なければ退院となります.	
	当日の朝,発熱・発疹などの症状がある場合,あるいは他の理由 で都合が悪くなった場合は,来院前に主治医にご連絡下さい.		ال ال		
薬剤 (点滴)	* 吐き気を抑えるためにあらかじめ吐き気止めを投与します * アレルギーを予防するために抗アレルギー剤を投与することがありま * す 出血性膀胱炎の予防のためのお薬を投与する場合 があります	吐き気や嘔吐がある場合は、	は、必要に応じて内服や点滴による治療を行います。 必要に応じて吐き気止めを使用することがあります。	* 退院時処方がある場合は忘れずにお持ち帰りください	
	* 特に制限はありません。ご家族でご用意ください。	* 気分不快がなければご持参い	ただいた食事や水分を取っていただいて構いません。	* 退院後は普段どおり食事を取っていただけます	
水分 食事					
活動	当日は、 時 分に 1階 入退院窓口⑥へお越しください.	* 薬剤投与中はなるべくお静か	にお過ごしください	* 帰宅当日はなるべくお静かにお過ごしください	
説明	* 下記の書類を記入していただき、入院当日にご持参ください □入所申込書・保証書・(同意書) □入院時チェックシート □アレルギー問診票 □身体抑制の同意書 * 入院に際し、ご持参いただきたいもの □診察券 □保険証 □母子手帳 □入院診療計画書 □リストバンド(当日、入院窓口でお渡しします) □入院中に召し上がる食品 □お好きな飲み物 □昼食・ミルク(哺乳瓶等) * 薬剤調整は入院後から開始となりますので薬剤が届くまでお待たせすることがございます。	せください。 * 薬剤によっては排尿ごとに検りご説明させていただきます。	査が必要になる場合がございます。その際はスタッフよ	* 帰宅後体調不良がある場合にはすぐに病院へ連絡してください。 * 看護師より診察券をお受け取りください。 * 次回受診日/入院日は 月 日です。	